

# マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果

- 参考資料
- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
  - 2) マダニ媒介SFTSとは
  - 3) マダニの生活環



KANA S. Illustrations  
衛生昆虫写真館 Photos

## マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部  
Tel: 03-5285-1111 (代表)  
Fax: 03-5285-1178  
e-mail: info@nih.go.jp

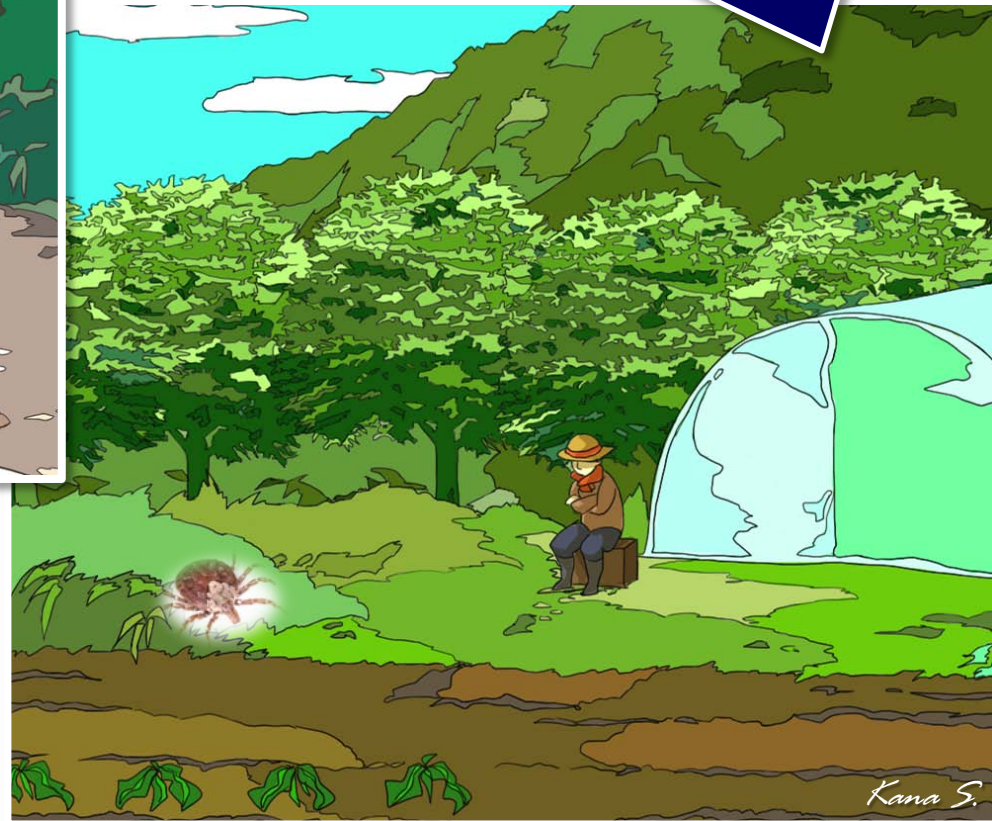
## SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所  
Tel: 03-5285-1111(代表)  
厚生労働省健康局結核感染症課  
Tel: 03-5253-1111(代表)

# 1. マダニの生息場所

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

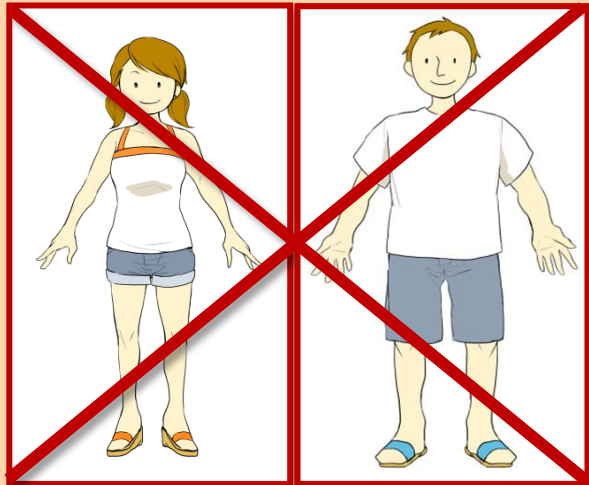
マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



## 2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

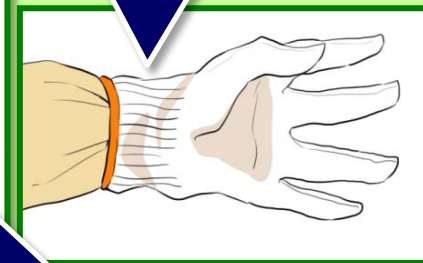


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

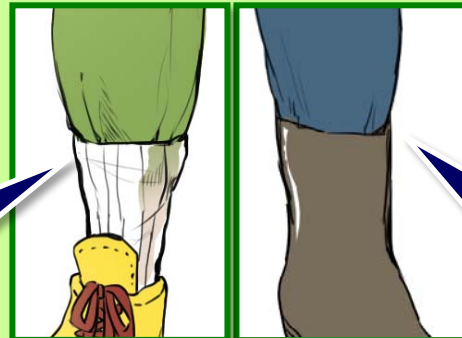
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

# 3. マダニから身を守る方法

**上着や作業着**は、  
家の中に持ち込まない  
ようにしましょう。



屋外活動後は、  
**シャワーや入浴**で、  
ダニが付いていないか  
チェックしましょう。



**ガムテープ**  
を使って服に  
付いたダニを  
取り除く方法  
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

**マダニに咬まれたら**、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## 4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に**忌避剤(虫よけ剤)**が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(ダニ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤(医薬品)が複数市販されています。

このような忌避剤を使用し、マダニに対して**一定の忌避効果が得られる**ことが確認されました。



忌避剤を  
散布

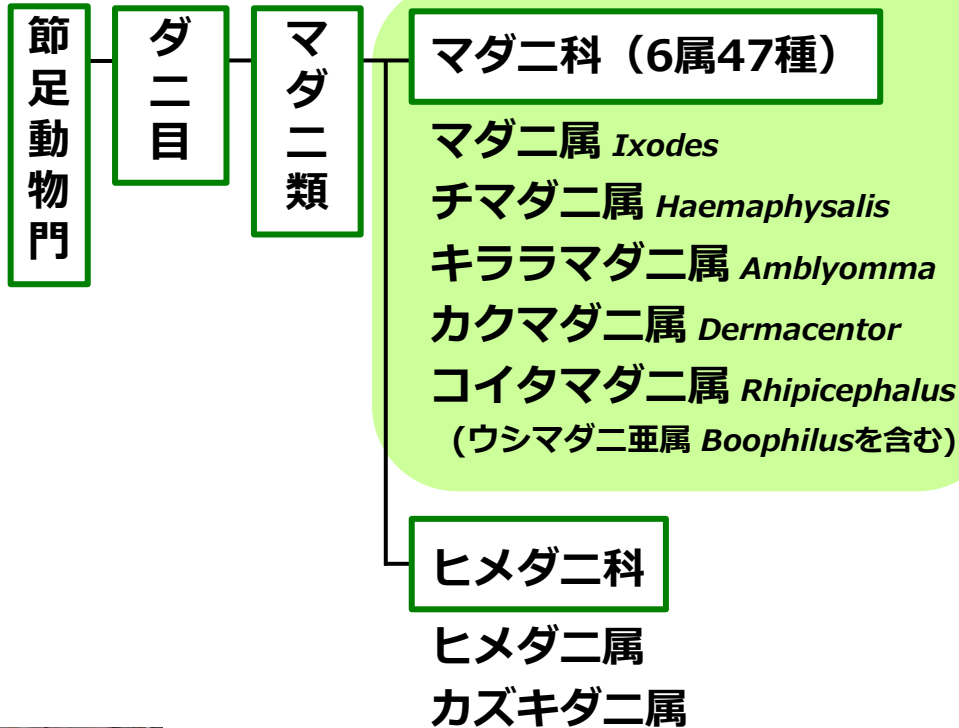
無処理



**ディート(忌避剤)**の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

# 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

**マダニ**は、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



## マダニが媒介する感染症

( ) 内は病原体の種類

- 日本紅斑熱 (リケッチア)
- Q熱 (リケッチア)
- ライム病 (スピロヘータ)
- ボレリア症 (細菌)
- 野兔病 (細菌)

## 重症熱性血小板減少症候群 SFTS

- (フレボウイルス)
- ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)
- キャサヌル森林病 (フラビウイルス)
- クリミア・コンゴ出血熱 (ナイロウイルス)

..... など

# 参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

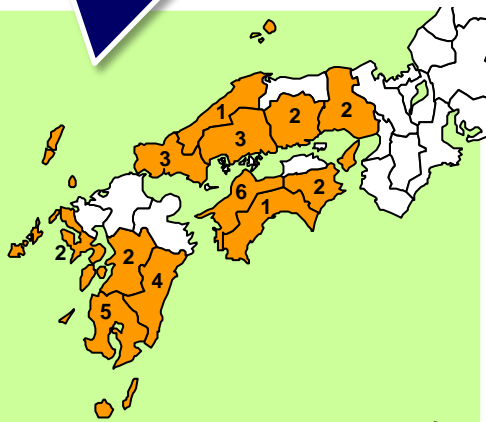
これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つっています。



**ウイルスの潜伏期間**は (マダニに咬まれてから) **6日~2週間**とされています。

2013年は、西日本の12県でSFTS患者が報告されています。

( ) 内は発症数



(10月23日 現在)

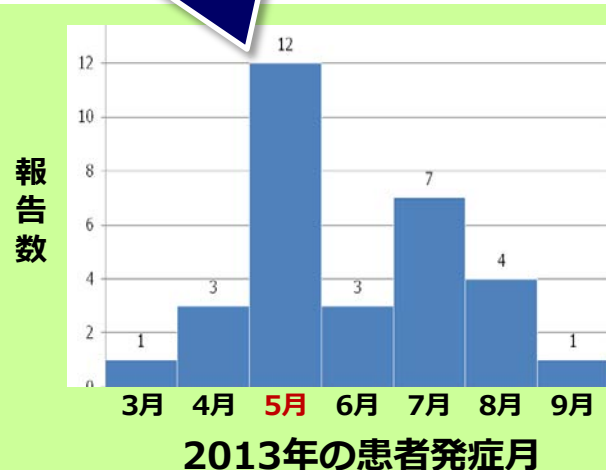
## SFTS患者報告基本情報

合計		33名
性別	男	12
	女	21
年齢	中央値	73歳
	40代	1
	50代	4
	60代	6
	70代	9
	80代	10
	90代	3

(10月23日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者 (合計33名) は**40代以上**でした。

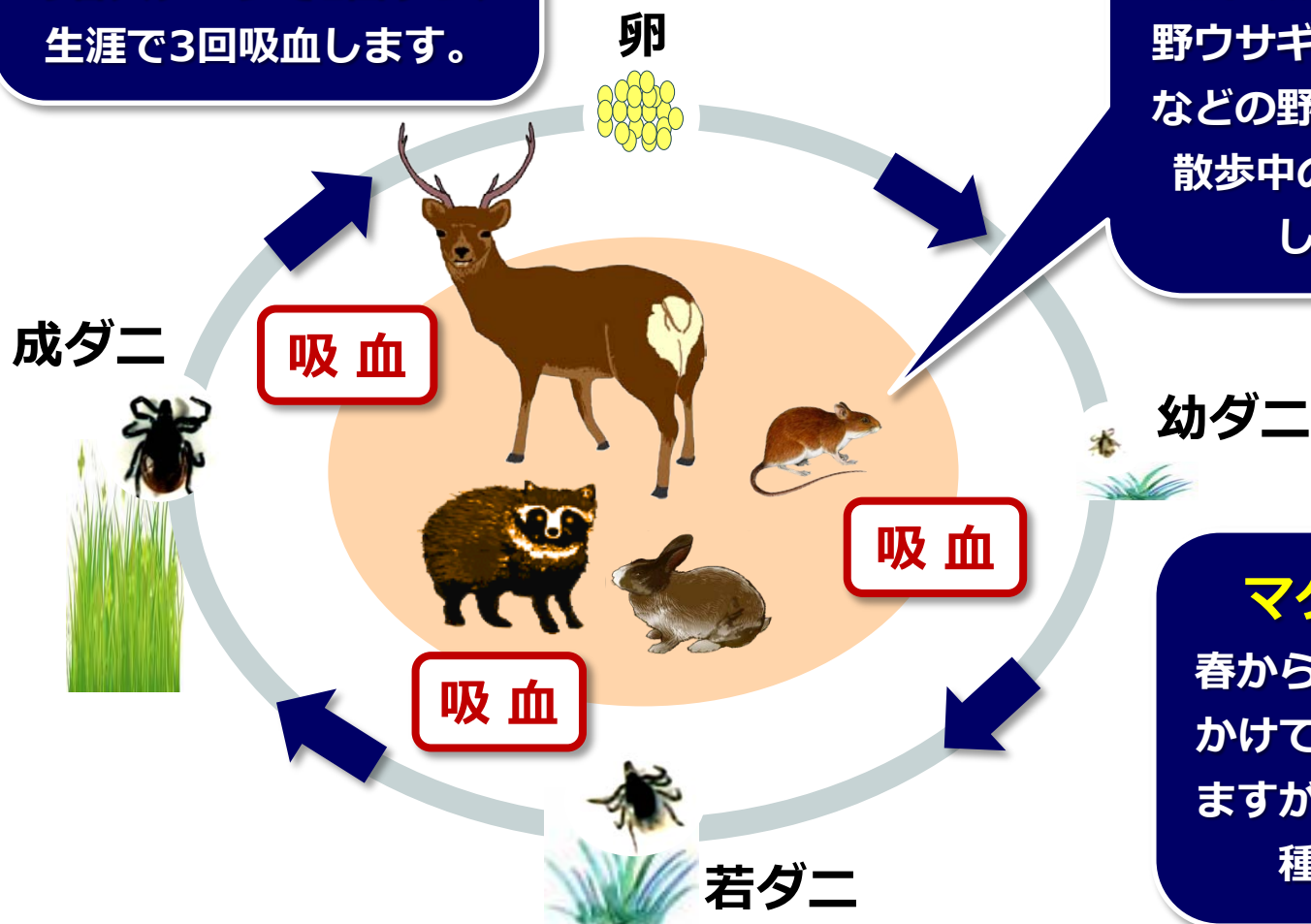
2013年のSFTS患者は**5月に多く発症**しています。



資料は、国立感染症研究所ホームページ：  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/3143-sfts.html>を引用

# 参考資料 3) マダニの生活環

**マダニ**は、  
幼ダニ、若ダニ、成ダニ  
の各ステージで1回ずつ、  
生涯で3回吸血します。



**マダニ**は、  
ヒト以外に、野ネズミ、  
野ウサギ、シカ、イノシシ  
などの野生動物や、ネコ、  
散歩中のイヌなども吸血  
しています。

**マダニ**の多くは、  
春から秋（3～11月）に  
かけて活動が活発になり  
ますが、冬季も活動する  
種類もいます。